

坂本城

坂本城を考
える会会報

発行責任者
藤本 一也
大津市雄琴
2丁目9-22

第十回総会で決定 ガイド等事業を推進中

平成二八年五月十五日（日）、
下阪本市民センターにおいて、司会に山本正史幹事、議長に林副会長を選出して

地域との連携を強め中世の坂本城の研究とガイド実施



2016/05/15

総会が開催された。
総会に先立ち、天田省三前会長がご逝去されたので、ご冥福を祈り黙とうが行われた。

総会では河村会長の挨拶に引き続き、二七年度事業報告と決算報告、二八年度事業計画と予算案、及び役員案が提案され、議案のすべてが承認された。

平成二七年度 事業報告

1. 観光ガイドは、○坂本城址公園に駐在し、二〇回程度実施 ○唐崎文化協会と共催して約三〇名、藤尾地区の歴史探訪約六〇名のガイドを実施 ○坂本城址の説明版の改修。
2. 勉強会の実施
坂本城の下阪本地区築城の理由の研修
3. 地域との連携強化のため、下阪本文化祭に参加し、展示や紙芝居を実施。
4. その他の活動は、○三津浜の湖底調査（滋賀県立大）に協力 ○坂本城址公園の清掃活動を二回実施

天田省三前会長のご冥福をお祈りします

平成二八年度 事業計画

- 会報ニュースを発行 ○研修旅行を実施（姫路城）
- ホームページの更新
- 1. 下阪本地区との連携を強化し、行事に積極的に参加する。
- 2. 土、日、休日の公園ガイド（個人・団体）を実施する。
- 3. 調査と勉強会 ○坂本城遺構の探索 ○三津浜の調査と歴史の勉強会
- 4. 従来からの業務は継続する。 ○会報ニュース発行 ○研修旅行の実施 ○下阪本文化祭に参加 ○ホームページの更新

平成二八年度役員

- 会長 河村益孝
副会長 林 宏
幹事事務局 山本 正史
幹事 会計 渡辺 豊
幹事 広報 藤本一也



- 幹事 梶原大義 恒岡善博 山本 克也（新）
森 茂樹（新） 上島 昇
（新）木谷 昭朗（新）
監事 並木益雄 中田安子
顧問 中井 均（滋賀県立大）木村至宏（前成安造形大学長）馬淵直樹（日吉大社宮司）村田省三（元市産業観光部長）
幹事退任 成宮律子 奥村多采子 三津川 聡 久保良雄



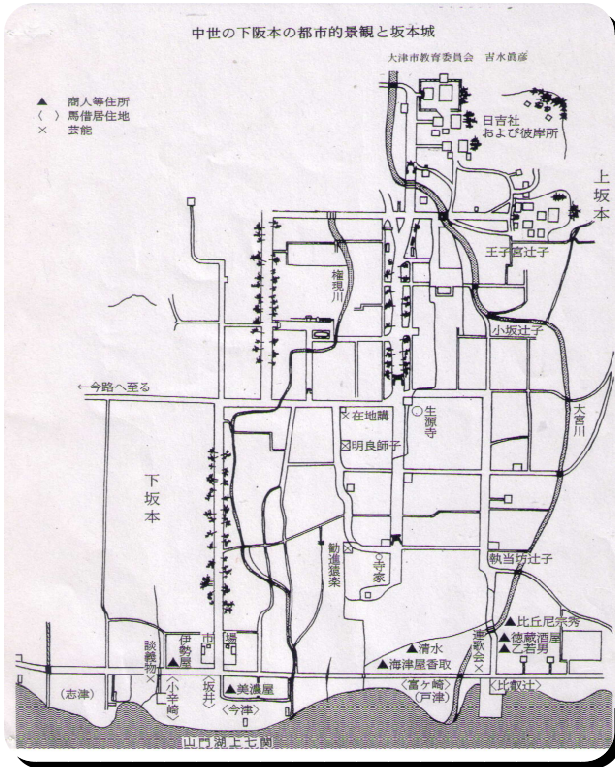
総会に引き続き、演題「中世の下坂本の都市的景観と坂本城」として、大津市教育委員会文化財保護課の吉水眞彦氏の記念講演が行われた。七〇余名の参加

記念講演
下坂本は屈指の港町
吉水眞彦
市教委文化財保護課

者が聴講し、予定時間を超える講演であった。

■古く坂本とは、比叡山を挟んで京都側を西坂本、滋賀側を東坂本（東麗とも天麗とも）

坂本の中で、山手の日吉大社を中心としたところを上坂本、浜側の琵琶湖に面したところを下坂本とい、現在の川附近まで下坂本の範囲であった。また、上坂本は里坊の並ん



室町時代の坂本「上下坂本略絵図」
(叡山文庫蔵) 吉水作図

講演の要旨

含む坂本の戸数は、数千軒、人口は万を超えており、当時の畿内では、京都・奈良に次ぐほどの、また全国で

だ門前町、下坂本は町屋の並んだ港町であった。鎌倉・室町時代、特に一五世紀後半頃には下坂本は、琵琶湖岸の北から戸津・今津・志津の三津浜（まとめて戸津とも）を中心に最盛期を迎え、中世の下坂本を

の地などから多くの短冊型建物群（京町家風建物、間口四メートル・奥

も七番目の大都市であった。発掘調査から、ここ下坂本は、松ノ馬場通り、下坂本小学校、市民センター



第3図 現在の坂本・下坂本地区に残る地割(昭和42年実測地図に加筆)

行き二四メートル)が出土し、商人の住む港町であったと考えられる。出土土器も博多や鎌倉にしか出土していない土器、全国でも珍しい琉球銭などが出土しており、広く交易を行っていたことが推察できる。また上坂本の地割は南北に沿って作られているのに対し、下坂本の地割は二八度ずれ、穴太から始まり堅田まで続いていることも、坂本と下坂本の町の性質の違いが示される。
(文責 梶原大義)



元龜二年（一五七一年）九月、織田信長は比叡山を焼き討ちしました。二月、明智光秀に延暦寺の監視と琵琶湖水運の確保、滋賀郡一帯の支配を命じ、下坂本に坂本城を築かせました。しかし天正一〇年（一五八二年）六月、光秀は本能寺で信長を討つが、山崎の合戦で羽柴秀吉に敗れ、坂本城は炎上・落城しました。



直後、坂本城は丹波永秀により再建されますが、天正一四年（一五八六年）浅野長政により大津城に移築され、一五年の歴史を閉じました。このように歴史的に知名度の高い坂本城に、各地から見学者が訪れています。そこで、平成二四年九月から役員を中心に、日曜日に二時間程度のガイド体制を組む、坂本城址公園で観光客に説明を行ってききました。

ガイド役も少なく、十分な対応もできていませんが、関西を中心に、東海・関東・中国地方など遠方から訪れる観光客もあり、私たちが驚いています。このように観光客が城址公園へ来ても坂本城の遺構はほとんどない状態ですので、坂本

城の歴史や縄張りを中心に説明をしましたところ、興味深く聞かれ、喜んでいただいています。今後も坂本城を地元だけの文化遺産にしておくだけでなく、広く世間に紹介、PRしていこうと考えていますので、ガイドに協力してください。河村会長（☎0771-5791888）までご連絡ください。



大津京近くで生まれ、小学校の低学年から坂本で育ち、大人になって十数年東京に住んで仕事をしていましたが、七年前に東京からUターンし、現在、大学と高校に通う息子四人と妻との六人家族で、下坂本・比叡山に住んでいます。子どもの頃から歴史が大好きで、日吉山王祭には毎年のように出ていました。でも、明智光秀公が築城した坂本城が、「坂本」のどこにあるのか知りませんで

した。坂本城が下坂本の湖岸にあったことは、十数年前の湖底の石垣跡の発掘調査が報道されたところに知ったように思います。さて私ですが、坂本・下坂本・日吉の郷土の地に元気がないことを強く感じました。それでまちづくり、まちおこし、地域の活性化などに興味を持つようになり、大学院や各種講座で学び、自治会やPTA、NPO、市民ボランティアなどの活動にも参加するようになりました。

そうしたときに坂本城の天守は、廃城後大津城に移され、その大津城廃城後は彦根城に移されたという説があることを知りました。あの国宝、世界遺産候補の彦根城の天守は、実は坂本城の天守の可能性があるので、彦根は現在、お城と城下町を中心としたまちづくり、まちおこしを推進し、住む人がお城と町に誇りを持って、美しい町並みとにぎやかさを取り戻そうとしています。元祖・天下の名

城の“坂本城”があつた郷土の街も、彦根に負けない、いやそれ以上に美しくてにぎやかな街にしたい。そうした思いで坂本城を考える会に入会させていただきました。また明智光秀公は、本能寺の変で主君織田信長を討つたということで、一般に我が国史上、最大の謀反者という扱いをされていますが、実は坂本城下では善政を行い、民に慕われた名君とされ、現在も下坂本では高く評価されている方が多いように思います。坂本城以外にも、光秀公が治められた亀岡や福知山でも同様に高い評価をされていることから、天下一の謀反者どころか天下一の名君であつた可能性が高いと考えます。坂本城を考える会で、先輩たちに教わり、文献研究などを進め、光秀公とその実績について、自分なりに考え、子どもたちをはじめ、多くの人に伝えていきたいと思っています。よろしくお願

いします。

坂本城を考える会主催

あの国宝の天守が
よみがえる

彦根城

ほんものとの出会い
彦根城博物館見学

日帰り
バスツアー

10月25日(火)

JR 大津駅(裁判所前) 8:30出発
JR 比叡山坂本駅 8:55出発

日程:コース JR 大津駅:裁判所前(8:30)……JR 西大津駅(8:45)……JR 比叡山坂本駅(8:55)……JR 堅田駅(9:10)……<湖岸道路>彦根城(10:30)見学……出発 12:10……昼食:サガミ彦根店(12:20~13:20)……キリンビール滋賀工場見学(14:00~15:10)……<名神高速道路>……JR 大津駅:裁判所前(16:10)……JR 西大津駅(16:20)……JR 比叡山坂本駅(16:30)……JR 堅田駅(16:45)

昼食付!!

参加者募集

先着25人

お1人 **6,500円**

申込み・問合せ先

大津市下阪本1丁目
坂本城を考える会
事務局 山本 正史
090-1671-1236



近江牛小鍋とお刺身和膳

会費納入のお願い

- 平成28年度会費
1,200円を、未だ納入されていない会員は、郵便振替で至急納入願います。現金でも結構です。払込取扱票が必要な方は連絡頂ければ送ります。
- 口座番号
00940-8-193042
- 加入者名
坂本城を考える会
- 他の金融機関からは
店番 468-
普通預金 0954399
- 520-0113
大津市坂本3-17-61
渡辺 豊
TEL077-578-4607
090-7348-1083

平成28年度
文化祭の一環として
下阪本の
歴史を学び
ませんか!



近江の坂本城を考える

=なぜ、坂本城は下阪本に築城されたのか=

主催 坂本城を考える会 後援 下阪本文化協会

昔、明智光秀が坂本城を築城したことは皆知っているのですが、なぜ、私たちの住んでいる下阪本なのだろうか。皆さんに話を聞いてほしいと思い、ここにご案内します。

とき **11月3日(木・文化の日)** 14時~15時30分
ところ 下阪本市民センター3階会議室

受講料 無料

講演者 坂本城を考える会 幹事(調査・研究担当) 梶原 大義

問い合わせ先 坂本城を考える会 事務局 山本正史(090-1671-1236)まで